

一般質問

個人質問



川原 春夫 議員

● 英語教育の意義について

Q 国の事業仕分けの中で、仕分け人より、なぜ小学校で英語を教えなければならぬのかといった理由により、小学校英語ノート予算に関し、教材廃止と仕分けされたことを教育長はどのように受け止めたのでしょうか。

A 教育長 私も新聞を見てびっくりしました。まさか英語ノートが廃止になるとは夢にも思いませんでした。今さら、そもそも論なのかなど、何年も協議をされてきたわけです。その必要性を感じて、新指導要領でも英語活動が始まるわけです。教科ではありません。教材が少ない中で、貴重な教材である英語ノート

の廃止ということは、現場のとまどいは大変なものがあると思います。報道により、全国から大変苦情が出ておられるというのを聞きしております。山武市教育委員会にとっても、残念だという思いでいっぱいです。

Q まさに私もそのように思いました。そこで、具体的に質問させていただきま。本市における幼稚園、小学校における英語教育の取り組みが現状どのようになっているのかお聞かせください。

A 教育長 山武市では、全ての小学校で英語活動を実施しています。学年によって実施時間は異なりますが、全学年で実施している学校が8校、3年生から6年生まで実施している学校が3校。5年、6年生で実施している学校が2校あります。幼稚園、こども園では5つの園が遊びの中で、あいさつ、数、色、動物などを英語で話す活動を

実施しています。

なお、山武市の小学校5、6年生は、平成23年度からの必修化を見据えて、今年度、平成21年度から前倒しで、すべての小学校で年間35時間の英語活動を実施しています。

Q ある幼稚園の園長と懇談させていただきましたけれども、やはり英語となると、どうしても先生方の中では、一歩、気おくれしてしまふということから、なかなか思うようには進まないというのが現状です、ということをおっしゃっておられました。

そこで、外国の方でなくても英語に関して堪能な方のお力をお借りするとか、また、ビデオやCD・ROMなど視聴覚教材等を活用して積極的に計画できるのではないのかと



大平保育所の英語教室

思います。市教育委員会としてプロジェクトチームを組んで、幼稚園、小学校低学年における英語教育というものを市として本格的に考え、スタートさせるべきではないかと思いますが如何でしょうか。

A 教育長 地域との連携に關してですが、成田国際空港振興協会が昨年度から実施している英語教育支援事業を有効活用しています。小学校から希望を募って、総合的な学習の時間に英語の勉強をしています。市では、学校支援地域本部を立ち上げた学校があります。放課後子ども教室も2つ目ができました。そういう中でも、英語の学習というか、遊びというものを取り入れていきたいと考えています。市としてプロジェクトチームを組んで、ということですが、今後、検討してまいります。

Q 財政改革の取り組みについて 市財政状況を市民の皆様へお知らせすることに、高年齢が進む中で、文字の太さを考慮し、財政用語の説明などを入れながら、つまり市民の皆さんにとって分かり

やすく、また、何をお知らせしなければならぬのかというところに着眼点を置いた取り組みを考えていただければと思います。今後どのように工夫されるのでしょうか。

A 財政課長 広報紙のページに制約があり、本市の財政状況の広報は文字と数字だけで、簡潔で見やすいものになっているとは言えません。今後は、グラフなどを入れるスペースを確保する中で、改善をしてみたいと思っています。

Q 過去の定例議会におきましても質問させていただきましたが、財政改革に取り組む先進地の視察についての計画はどのようになっていますか。

A 財政課長 来年度の当初予算に先進地の視察旅費を計上しています。日数、時期等、具体的には、まだ決定しておりませんが、財務諸表を活用し、財政改革に取り組んでいる先進地の視察を計画しています。

A 市長 先進地の視察につきましても先ほど2名とお話しさせていただきましたが、予算上の制約がある中で研修